

2026年5月8日

各位

株式会社エムティーアイ  
 代表取締役社長 前多 俊宏  
 (東証プライム・コード 9438)  
 問い合わせ責任者  
 専務取締役 松本 博  
 TEL : 03-5333-6323

## 第2四半期(累計)および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2025年11月11日に公表しました2026年9月期第2四半期(累計)および通期における連結業績予想を修正しますので、以下のとおりお知らせします。

記

### 1. 連結業績予想の修正

#### (1) 2026年9月期第2四半期(累計)連結業績予想の修正

(2025年10月1日~2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	百万円 15,000	百万円 1,400 ~1,600	百万円 1,450 ~1,650	百万円 780 ~920	円 銭 14.06 ~16.58
今回修正値(B)	15,666	1,679	2,063	1,863	33.58
増減額(B-A)	+666	+79 ~+279	+413 ~+613	+943 ~+1,083	
増減率(%)	+4.4	+5.0 ~+20.0	+25.1 ~+42.3	+102.6 ~+138.9	
(ご参考)前期実績 (2025年9月期第2四半期)	14,885	1,639	1,721	1,757	31.87

#### 【修正理由】

売上高および営業利益は、ヘルスケア事業や法人向けDX支援事業等における売上伸長により前回発表予想より上回って着地する見込みです。

経常利益については、営業利益が同予想より上回って着地することに加え、持分法による投資利益の拡大により同予想より上回って着地する見込みです。

親会社株主に帰属する中間純利益については、経常利益が同予想より上回って着地することに加え、2026年1月23日付にて発表した「連結子会社の異動(株式譲渡)に関するお知らせ」のとおり、連結子会社の株式会社ビデオマーケットの全株式を株式会社PLAYに譲渡した結果、当該株式の譲渡金額が取得金額よりも低かったことによる売却損の確定に伴い、法人税、住民税及び事業税から425百万円を差し引くことを主因に同予想より上回って着地する見込みです。

## (2) 2026年9月期 通期連結業績予想の修正

(2025年10月1日～2026年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 31,000	百万円 3,100 ～3,500	百万円 3,100 ～3,500	百万円 1,770 ～2,050	円 銭 31.90 ～36.95
今回修正予想(B)	31,500	3,100 ～3,500	3,400 ～3,800	2,560 ～2,840	44.29 ～49.33
増減額(B-A)	+500	-	+300 ～+300	+790 ～+790	
増減率(%)	+1.6	-	+8.6 ～+9.7	+38.5 ～+44.6	
(ご参考)前期実績 (2025年9月期)	29,910	2,946	3,027	3,404	61.62

### 【修正理由】

売上高については、第2四半期(累計)の売上高が前回発表予想を上回って着地する見込みであることから、上方修正します。一方、営業利益については、ヘルスケア事業において薬局DX向けのシステム開発や『ルナルナみらいサポート』の費用負担等を計画していることから、同予想を据え置きます。

経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益については、営業利益の同予想を据え置きますが、第2四半期(累計)の経常利益および親会社株主に帰属する中間純利益が同予想を上回って着地する見込みであることを加味し、上方修正します。

### <見通しに関する留意事項>

本資料における業績の見通しは、当社が本資料発表時点で入手可能な情報による判断、仮定および確信に基づくものであり、今後の国内および海外の経済情勢、事業運営における内外の状況変化、あるいは、見通しに内在する不確実な要素や潜在的リスク等、さまざまな要因により実際の業績は見通しと大きく異なる結果となり得ることがあります。なお、リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する予測不可能な影響等も含まれます。

以上

### 【お問い合わせ先】

株式会社エムティーアイ  
IR室 e-mail: [ir@mti.co.jp](mailto:ir@mti.co.jp)  
URL: <https://ir.mti.co.jp>